

かつら

網走青年会議所 HP
<http://abashiri-jc.com/>

1月5日（火）新年交礼会

一般社団法人網走青年会議所は、新型コロナウイルスの影響を鑑みまして、「実写とCGの合成」で新年交礼会の配信を行いました。

新年度のスローガン「超えていけ」を掲げ、世界情勢が目まぐるしく変化していく中、今までを超えるような気概と覚悟を述べさせていただきました。また、新入会員4名を含む2021年度一般社団法人網走青年会議所の新体制をお披露目させていただきました。

今後とも、皆様のご期待にお応えできるよう努力を重ねていく所存でございますので、何卒一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ご視聴いただいた皆様、誠にありがとうございます



QRコードをスマホで読み取ると動画が見れます。

1月13日（水）新入会員育成事業 「青年会議所って何?～新入会員育成事業～勉強会」

網走青年会議所事務局にて「青年会議所って何?～新入会員育成事業～勉強会」を開催いたしました。

講師に当青年会議所の卒業生であります、第64代理事長、中村圭先輩をお迎えし、当年度新入会員に対して自身が青年会議所にて経験されたお話や時には新入会員への質問を織り交ぜながら、終始和やかな雰囲気の中、勉強会を開催いたしました。

右も左もわからない新入会員に対して、中村講師はわかりやすい具体例を挙げながら、青年会議所の存在意義や運動を展開していくことの意味、自己成長の必要性、人脈の大切等を教えていただきました。



1月18日（月）定時総会

網走セントラルホテルにて定時総会を開催しました。

2021年度事業計画書が柏崎理事長を筆頭に副理事長、委員長の晴れ舞台として皆胸を張り、上程に臨み、全議案が審議可決承認されました。

同時に、新年交礼会では行えなかった新入会員の入会証の授与もあり、緊張した顔が初々しく感じました。新入会員の皆様も今後の青年会議所ライフを謳歌していただき、悔いのない運動を願うばかりです。不安だったこと、したかったこと、成りたかった自分、様々な想いがあったと思います。

もし現役会員と町で会うことがございましたら先輩諸氏より勇気を分けていただけると幸いです。

今年のスローガンである「超えていけ」は今後新型コロナウイルスの蔓延から世界に変革が求められているこの1年。先輩諸氏が築き上げていただいた網走青年会議所をさらに飛躍させるために、我々メンバーは一丸となり、すべての困難を乗り越え、思いを繋げてまいります。この一年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。

2月3日（水）2月第1例会「一次産業の潜在能力と社会での多面的価値」

網走セントラルホテルにて、まちづくり委員会が2月第1例会「一次産業の潜在能力と社会での多面的価値」を開催いたしました。

一次産業のもつ潜在能力と多面的価値の理解と、それを活かした他地域のまちづくりの事例を学習し、今後の地域課題解決に向けた我々の発想の幅を広げることを目的に開催いたしました。講師に株式会社ノースプロダクション代表取締役近江正隆氏をお招きし、一次産業の潜在能力と、多面的価値についてご講演いただきました。

福田委員長の想いは、「一次産業には様々な価値がある。まずはその付加価値に気づき、次に社会に対する影響を考え実行すれば、より良い社会になる」

例えば、米農家の本業はお米づくりですが、付加価値として、本州の高校生、社会人などを招いて米作り体験してもらう。それが、体験者の今後の人生、社会経験においてかけがえのない価値となり、それをまた仲間に伝え拡散し、社会全体に大きな影響を及ぼす。といったように、1つの物事を多面的に捉えることにより、今ある地域の日常に新たな価値を見いだす。それが次世代の子どもたちが地域への自信と誇りが芽生え、地域への愛着が深まり、地域へ貢献しようと思う意識を育むことに繋がるという大変貴重な例会でした。



3月6日（土）3月第1例会「異業種 × 異業種＝可能性∞」

網走湖上にて、拡大委員会が拡大対象者を募り、3月第1例会「異業種 × 異業種＝可能性∞」を行いました。

天候は決して良いとは言えない中でしたが、多くの方に参加していただきました。

共に運動を展開する「仲間」を拡大するために、拡大対象者となる市内の青年層とともに長時間を共有する手法としてワカサギ釣り大会を行い、釣りをしながら網走JCがどのような団体であるのかを知ってもらい、私たちが行っている運動に対する理解を促すことで、まちづくりへの関心を芽生えさせ、網走青年会議所に入会したいという意識変革を行いました。また、拡大運動は全員で取り組まなければ成功しないということを全メンバーが認識できるように、初めにメンバーの人となりを知ってもらうことで興味を持ち、自分たちの魅力を知ってもらう機会を活かして、他者の意識変革を行う難しさや、会員拡大の必要性を認識できました。

意外にも網走在住の方でワカサギ釣り経験者はほとんどおりませんでした。1時間30分という時間の中、参加者は集中してワカサギ釣りをしておりました。ワカサギが釣れるのかと思いきや、たまにカレイなども釣れ参加者は大いに盛り上がりました！



3月10日（水）第15期網走青年会議所中期ビジョン構想事業

網走青年会議所事務局にて、第15期中期ビジョンに向けた意見交換会を開催しました。

過去の中期ビジョンを振り返り、現状を踏まえた課題について活発な意見が交わされました。

「網走の明るい豊かな社会の実現」に向けて「マインドマップ」という手法を用いて、頭の整理ならびに今まで気づいていなかったものにまで目を向けて悩んでいる会員の姿が印象的でした。5年に一度の中期ビジョン策定を今年中に行い、来年70周年を迎える年にお披露目できるよう準備を進めて参ります。



4月2日（金） 4月第1例会「網走・斜里青年会議所合同例会 in 斜里 ～コロナに負けずに一步を踏み出し超えていけ!～」

斜里町のガーデンハウス藤苑にて、4月第1例会「網走・斜里青年会議所合同例会 in 斜里 ～コロナに負けずに一步を踏み出し超えていけ!～」を開催いたしました。

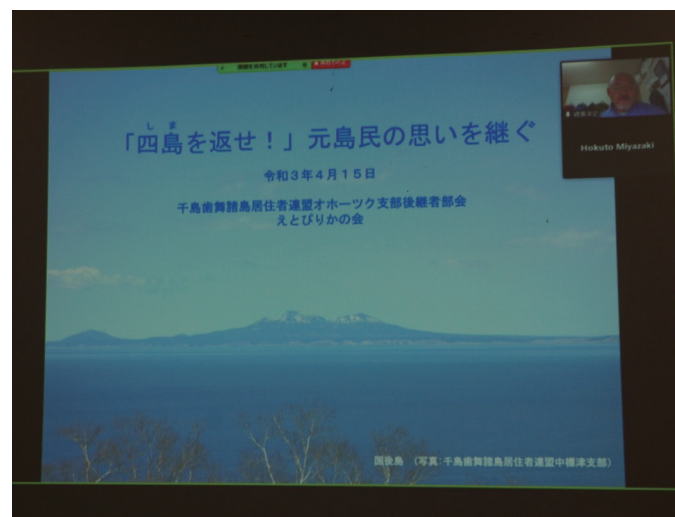
昨年は新型コロナウイルスの影響によりWEB開催となった網走・青年会議所合同例会ですが、本年は対面で開催することが出来ました。「THE 商社」というビジネスカードゲームを使用し、2LOM参加者の混合チームで進行了。THE商社とは、6名程度のチームを組み他のチームと交渉を行いながら、チームの事業を構築していくゲームであり、戦略思考や想像力などビジネスの必須能力やチームビルディングを学ぶことができるゲームです。講義だけでは得ることが出来ない実践を通じて、気づきを得て実社会においても活用できるスキルを学ぶことができます。

また、「人対人」「組織対組織」の交渉を行うため、チーム内での戦略を組み立てるリーダーシップや意見をまとめるなどの役割分担や、他チームと交渉しwin-winの関係を構築することが必要であり、コミュニケーションが必須な内容となっていました。限られた時間の中で、意見を交わし合い、時間の経過とともに交渉の場面が多く見られ、業績を大きく伸ばしていくチームもあれば、横ばいのチームもあり、結果とゲーム終了後のまとめから、ビジネスに必要なものが何かを比較しながら知ることのでき

4月15日（木） 4月第2例会「想いをつなげよう! 行動しよう! 北方領土」

オホーツク文化交流センターで4月第2例会「想いをつなげよう! 行動しよう! 北方領土」を開催いたしました。本例会の目的は、北方領土問題の当事者意識を醸成するために、北方領土問題の歴史から現状を理解し、関連する知見を深めて関心を高めることです。北方領土は我が国固有の領土であるにも関わらず、北方領土問題に対して国民がそのことを理解できているのか。一部の人が結託して行っているのに過ぎないのではないか。という現状の問題があります。青年会議所ができることは、北方領土問題に関する知見を深め、それを伝播していくことだと考え行いました。

絹張講師の親御さんが北方領土にで住んでいたときの内容もとても魅力的で、歴史の再認識と新しい視点での気づきを得られました。また新型コロナウイルスの情勢を鑑み、例会で初めて講師の方Zoomを用いた講演をしていただきました。今後もニューノーマルで起こる変化に対応していきたいと考えております。



5月1日（土）陸稲栽培チャレンジを通じた青少年育成事業

福田農場（網走市実豊）にて「陸稲栽培チャレンジを通じた青少年育成事業」を開催しました。

この事業は、網走市内の小学生と保護者、兄弟を募集し、5月1日～11月下旬の期間において網走にて陸稲を栽培するチャレンジを通じ、網走の魅力と価値を親子に認識していただく事業です。新たな食料・農業・農村基本計画の中に食育や地産地消の推進が盛り込まれていますが、網走において地元へ向けた主食となる作物が生産されていないため、地産地消の推進が低く、我々大人たちから食料を通じた地域への愛着心が希薄化し、無意識のうちに網走の可能性の諦めが子どもたちへ伝播し、網走に感じる魅力が減退しています。子どもたちが網走ならではのチャレンジや地域の魅力を知り、持続可能な地域と網走への愛着心の創造と再確認から子どもたちの未来に網走をつなぐ必要があります。未来に網走をつなぐために、親子で地域課題に取り組むことで、網走の潜在的価値を認識することを目的に開催致しました。

当日は、コロナの感染対策には十分に配慮を行い、NHK 北海道にも取り上げられました。「稲作が行われていない網走で親子が「ななつぼし」の種まき」

今後も、網走の潜在的価値を今後も様々な方向性で見つけながら、市の発展に貢献してまいります。



5月12日（水）5月第1例会「課題解決能力向上セミナー！」

オホーツク文化交流センターにて5月第1例会「課題解決能力向上セミナー！」を開催しました。

近年情勢が大きく変化し、地域のリーダーとして多種多様な課題解決にむけての動きを求められる機会が増えてきます。

そこで、講師として株式会社実務経営サービス代表取締役社長 板垣誠氏をZoomにてお招きし、TTWセミナーを実施致しました。TTWとは、解決したい課題に於いて短時間で効率的な解決が出来、シンプルでわかり易く今までにないユニークな発想手法です。

課題に対しての解決要因重要度を見える化することができ、会員の課題解決力の向上をはかることができました。

